

第1回基山町総合計画審議会

日 時：令和2年11月20日（金）14:00～16:00

場 所：基山町役場 4階大会議室

出席委員：16名

森田昌嗣会長、濱崎裕子副会長

田口英信、原憲一、末吉正夫、藤丸信一、内山哲夫、宮本浩子、神原玄應、
水田久男、鳥飼雅幸、日高紀子、池浦茂樹、山田和彦、白石善博、森禎久、

欠席委員：2名

大草昭雄、津川典善

事務局：3名 総務企画課 熊本課長、原係長、則本

傍聴者：なし

- 1 委員の委嘱
- 2 町長あいさつ
- 3 自己紹介、会長・副会長選出
- 4 会長・副会長あいさつ
- 5 諮問
- 6 議事
 - （1）第5次基山町総合計画中間検証・スケジュールについて
 - （2）基山町町民満足度調査結果報告について
 - （3）第5次基山町総合計画（H28～R2）中間検証報告書について
 - （4）第5次基山町総合計画（H28～R2）中間検証による見直し案について
 - （5）その他
 - ・次回審議会の開催時期について

1 委員の委嘱

(事務局)

皆様、こんにちは。

本日は、大変お忙しい中、第1回基山町総合計画審議会にご出席いただき、誠にありがとうございます。

今年度は、第5次基山町総合計画の中間年度にあたり、計画の進捗状況の検証が必要な年となっております。

基山町総合計画審議会は基山町総合計画審議会条例により、町長の諮問に応じ、基山町総合計画に関する事項について調査及び審議していただくこととなっております。今回は、第5次基山町総合計画の進捗状況について、ご審議いただきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

また、本日の第1回会議につきましては、本日お配りさせていただいております各資料の説明をさせていただき、次回の第2回会議で各種ご意見をいただきたいと思いますので、説明の時間が長くなると思いますがよろしくお願いいたします。

それでは、レジメに従いまして、進行させていただきたいと思います。

町長から一人ずつ委嘱書を交付させていただきますので、お名前を呼ばれた方から、順番に前に出てきていただきますようお願いいたします。

(町長より順番に委嘱書の交付を行う。)

2 町長あいさつ

(町長)

皆さん、こんにちは。今日は、基山町の計画の中でも、一番トップといいますか、一番中心的な役割の総合計画の審議会ということで、5年前の平成28年2月にできております。計画の表紙をめくっていただきますと、平成28年の2月と、実は28年の2月に町長が代わっております。この時は、小森町長、丁度私が2月20日からでしたので、小森町長の名前で28年2月にできているのがこれでございます。当時私は、副町長をやっておりましたので、この計画につきましては、1ページ1ページ、1行1行、1字1字見ておりますので、前小森町長と一緒につくった、5年前につくった、そして皆様の方の中の、実は5年前にメンバーであったのは、森田先生、田口さん、原さん、神原さん、その他の方はすべてメンバーが代わっております。10年間の計画でございますので、丁度5年ですので、この5年でいい方向に見直しをかけたり、色々なご意見をいただきながら、基山の方向性を決めていこうというのが、この審議会のお願いでございます。先程も申しましたが、色々な計画の一番上位計画になります。この総合計画ありきで、その下に色々な計画がつくことになりますので、まさに基山町の方向性を決めるものでございますので、皆様のお力でこの総合計画、残りの5年をきちっとしたものにまたりバイスできたらいいと思っております。基山町といいますのは、今日初めて基山町の役場に来られた方もいらっしゃるかもしれませんが、こちらの窓の景色を見ていただきますと、東明館があって、その向こうに基山(きざん)という山があります。まさに基山(きざん)が基山の歴史でございます。東明館がまだ1%位の来年の選抜大会出場

の望みを残しておりますが、新しい東明館があり、その下に更に新しい合宿所があります。この風景が基山町の歴史を表しております。自然、歴史、新しいもの、教育、子育てであります。この5年間あっという間に過ぎてしまいましたが、この5年間の間にこれまで基山町が経験したことのないような事が2つありました。1つは2年半前の豪雨災害であります。亀の甲ため池が決壊するかもしれないということで、多くの方に避難していただきました。災害の厳しさを知る2年半前でした。そして、今まさに、コロナという新しい誰も経験したことのない、まだ終わっていない、これからどれだけ広がっていくか分からない環境下にあるわけでございます。5年間だけでもこのような新しい事象が発生しているわけですが、こういったものに柔軟に的確に対応していきながら、将来の基山町の方向性を考えていくのが、総合計画であると思っておりますので、皆様のお知恵とこれまでの経験をお借りいたしまして、すばらしい計画に拡充させていただいて、基山町の未来を創っていく作業ができればいいと思っております。色々ご迷惑をおかけしますが、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

3 自己紹介、会長・副会長選出

(事務局)

ありがとうございました。本日第1回目ですので、簡単に自己紹介をお願いしたいと思います。森田委員さんの方から順番にお願いいたします。

(森田委員)

皆さん、こんにちは。九州大学の名誉教授をしております。専門が公共デザインであります。最近の主な仕事としては、博多駅のひろばの計画設計を担当しました。福岡市の総合計画に参加しております。また、5年前に総合計画審議会のメンバーとして参加させていただきました。基山町は大切な町としてしっかりできればと思っております。名前ですが昌嗣と書いてよしつぐと読みます。よろしくお願いいたします。

(田口委員)

基山町商工会や観光協会、産業振興協議会の会長を務めさせていただいております、田口でございます。本業はメッキ加工、田口電機工業の社長をしております。地元地域に貢献できるように一生懸命頑張っております。よろしくお願いします。

(末吉委員)

基山の17名の区長の区長会長を今年4月より務めさせていただいております末吉と申します。地元は10区であります。よろしくお願いいたします。

(原委員)

原と申します。基山町勤労者協議会、基山町の中で勤労者活動を五十数年の歴史がある地域団体の事務局長を務めております。よろしくお願いします。

(内山委員)

令和2年度より基山町消防団の団長を務めさせていただいております内山でございます。よろしくお願いいたします。

(宮本委員)

昨年度より文化協会の会長を務めさせていただいております宮本でございます。よろしくお願いいたします。

(神原委員)

観光協会の副会長の神原でございます。観光協会の会長は田口さんであります、商工会長も務められておりますので、参加させていただいております。よろしくお願いいたします。

(水田委員)

こんにちは。水田といいます。農業委員2期4年目で今回から農業委員会の会長を務めさせていただいております。主に基山町の農業の担い手づくりの推進に努めております。よろしくお願いいたします。

(鳥飼委員)

こんにちは。基山中学校PTA副会長の鳥飼と申します。地元で鉄工所をやっております。基山町商工会にも所属しておりますので、子を持つ親の目線と地元で商売をやっている目線で何かしらできればと考えております。よろしくお願いいたします。

(白石委員)

こんにちは。けやき台から来ました白石と申します。子どもが3人おまして、3人とも大学を出て、基山を離れていってしまいまして、何でだろうと寂しく思っていたところ、基山の活動を目にしまして、ぜひ参加させていただきたいと考えました。よろしくお願いいたします。

(山田委員)

私は今年の2月から基山町の中山間地域の振興と再生を願ってオリーブの木を50本城戸の畑に植えさせていただきました。中山間地域のみかんが少なくなっているということで、何とか次の世代に繋げるものはないかということで立ち上げました。また、基山町の文化遺産のボランティアガイドをやっております。定年までは基山に住んではいましたが寝るだけのところで、基山に恩返ししないといけないということで、もっと基山のことを知ってよりよい明日にしたいと思い参加させていただきました。よろしくお願いいたします。

(池浦委員)

こんにちは。12区に在住しております池浦と申します。基山に越して来まして30年になります。会社が鳥栖の昭栄化学工業で電子部品を製造している会社で、学校を卒業してから勤務しております。今まで町の行く末を決める計画には興味はあったんですけども、外から見ていたということで、私も何年後かには定年を迎えてお世話になる方になりますので、中に入っていって考えてみたいと思い応募いたしました。よろしくお願いいたします。

(藤丸委員)

民生委員児童委員協議会の藤丸と申します。民生委員児童委員は36名おまして、各区1名から4名おります。私は8区に住んでおります。よろしくお願いいたします。

(森委員)

九州経済産業局の森と申します。町の最上位計画に携わるということで身の引き締まる思いでございます。我々の職場でやっている視点から何かご助言ができればと考えております。よろしくお願いいたします。

(日高委員)

こんにちは。社会福祉協議会の日高と申します。ボランティアの仕事に携わり二十数年が経ちましたが、社協の立場から、まちづくりについて勉強させていただきたいと考えております。よろしくお願いします。

(濱崎委員)

皆さんこんにちは。久留米大学人間健康学部総合こども学科の濱崎と申します。今回初めてここに寄せていただきましたが、学長の内村から基山町が今から子育てに力を入れるから行ってこいと言われ、やってまいりました。会の前に向かいのみらい館を拝見させていただきましたが、素晴らしい各施設ができたなと思っております。何だかのお役に立てればと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

4 会長・副会長あいさつ

(事務局)

ありがとうございました。次に、会長及び副会長選出に移らせていただきますが、委員の中から互選となっておりますが、どなたか会長・副会長に立候補される方はございますでしょうか。ございませんでしたら、事務局から案をご提示させていただいてよろしいでしょうか。

(委員)

(多くの委員から異議なしの声がある。)

(事務局)

それでは、会長に、森田 昌嗣様、副会長に濱崎 裕子様 にお願ひできればと思いますがよろしいでしょうか。

(委員)

(委員からの拍手がある。)

(事務局)

それではよろしくお願いいたします。会長副会長につきましては、会長副会長席にご移動をお願いいたします。

(事務局)

それでは、会長副会長ご挨拶をそれぞれお願いしたいと思います。初めに、森田会長お願いいたします。

(森田会長)

改めまして、森田でございます。会長という職で非常に緊張しているところでございます。5年前の第5次基山町総合計画策定に携わらせていただきましたが、アイが大きい基山町ということで、総合計画の場合役所的な内容のものが多いのですが、基山町の総合計画は最初の原案から内容の深い非常に分かりやすいものになっております。この5年間で基山町は多くの成果をあげられておりますので、今回の中間で非常に期待しているところです。よろしくお願いいたします。

(事務局)

続きまして、濱崎副会長お願いいたします。

(濱崎副会長)

濱崎でございます。私総合こども学科というところで保育士、幼稚園教員養成をやっておりますが、バックグラウンドはまちづくりの方をやっておりまして、総合計画については朝倉市だとか久留米市につきましては地域福祉計画の委員会に係わらせていただいておりますので、そういう立場から皆様と一緒に考えさせていただけたらと思いますのでよろしくお願いいたします。

5 諮問

(事務局)

それでは町長のほうから会長のほうへ、総合計画の諮問書を手渡していただきますのでよろしくお願いいたします。

(町長より諮問)

(事務局)

議事に入ります前に、基山町審議会等の会議の公開に関する規程に基づき、この会を公開するか否かを皆さんにお諮りすることとなっています。会は原則公開ということで、皆様よろしいでしょうか。

(委員)

(多くの委員から異議なしとの声がある。)

6 議事

(1) 第5次基山町総合計画中間検証及びスケジュールについて

(事務局)

それでは議事に入りたいと思います。

レジメに基づき、進めていきたいと思います。それでは(1)第5次基山町総合計画中間検証及びスケジュールについて事務局より説明をお願いします。

(事務局より「(1)第5次基山町総合計画中間検証及びスケジュール」について説明。)

(事務局)

議事の進行につきましては、会長にお願いいたします。

(森田会長)

第5次基山町総合計画中間検証及びスケジュールについて質問はないでしょうか。

6 議題

(2) 基山町町民満足度調査結果報告について

(森田会長)

それでは、(2)基山町町民満足度調査結果報告について、事務局より説明をお願いいたします。

(事務局より「(2) 基山町町民満足度調査結果報告」について説明。)

(森田会長)

基山町町民満足度調査結果報告につきまして、ご質問ご意見はないでしょうか。

(白石委員)

満足・やや満足を上げるよりも、不満・やや不満を下げるような施策が必要ではないかと思いますが、その辺りはいかがでしょうか。

(森田会長)

事務局よりお願いします。

(事務局)

満足度で評価した結果が8ページとなっており、不満足度で評価した結果が9ページとなっています。町民の皆様の満足度を上げるような施策を実施することにより、不満足度が下がっていくという考えであります。また、総合計画におきましても、満足度の高いまちづくりを実施することとしており、総合計画に基づき町民の皆様の満足度が上がるような取組を実施しております。

(白石委員)

アンケートにつきましては、満足度を選ぶだけですか。コメントや意見を書く項目はないのですか。

(事務局)

アンケートの項目により、コメント記入欄があるものとないものがあります。満足度を評価する項目については、コメント記入欄はありません。アンケートの最後に自由意見欄は設けておりました。

(白石委員)

アンケートに書いてあった意見の報告があるといいかなと思いました。

(森田会長)

4ページ、5ページを見ていただきますと、具体的な意見が掲載されておりますので、ご参考にされたいと思います。

(白石委員)

わかりました。

(森田会長)

他にご意見はないでしょうか。私から質問ですが、重要度の比較についてですが、全体的に重要度が下がっておりますが、相対的な関係性として、満足度が上がっているから、重要度が下がっているということでしょうか。

(事務局)

前回調査と比べ満足度が上がっているが、重要度はそれほど上がっていないものもあります。

(森田会長)

相対的なものであると思います。満足度が上がれば、重要度は下がってくると思いますので、下がっている分がマイナスという評価ではないと思います。

(池浦委員)

評価の項目ですが、例えば基山発とは何だろうと思います。基山発とはどういう質問の内容なのかと思います。どういう質問のアンケートをされたのかと思いました。基山発とはどうゆうものですか。駅のことですか。基山から発信するということですか。

(事務局)

発信するという意味です。第5次基山町総合計画（H28～R2）中間検証報告書の8ページをご覧ください。8ページについては、土地利用になりますが、アンケート調査で質問をおこなった内容は、指標名の欄をご覧くださいだと思います。土地利用につきましては、そちらに記載のあるような質問を行っております。

(池浦委員)

わかりました。

(森田会長)

他にないでしょうか。

(末吉委員)

アンケートの回収率が2,500名に対して1,205名の48.2%ということで、半分いってない状況で、評価する基準として、この回答率で進めていっていいのかという点と、回答率が想定範囲内であったのか、そのあたりをお聞かせいただけたらと思います。

(事務局)

まずは、回答率については、前回よりも上がっておりますけれども、無作為抽出でアンケートをとる時のサンプル数としては、目標値としては、1,000を超えてくると町内の縮図の考え方がでるであろうというところで、2,500抽出したのは、回答率40%を超えてくれば1,000を超えますので、町民の皆さんのご意見を反映した結果となることを想定してアンケートを実施しております。結果的には想定1,000を超えておりますので、アンケート結果については、全体的な民意を反映したものになっているだろうということで、分析を進めております。回答率が前回よりも上がったことについては、まちづくりに町民の皆様の関心が上がったのではないかと事務局の方では思っております。また、次回に向けても同じような形で評価を出していくことになっておりますので、先程申し上げた数字はクリアできるようにやっていきたいと考えております。

(末吉委員)

はい、ありがとうございました。

(森田会長)

他に何かないでしょうか。それでは私の方から、1ページ目の回答者の年齢で、2,500の配布は年代別には均等に配布で、回答率がこうだったということでしょうか。就業世代の回答率が低かったということでしょうか。

(事務局)

年代ごとの人口構成に応じた数が各世代に配布されております。回答率については、ご年配の方のほうが意識が高く、回答率については、若い方よりも年齢が上の方のほうが高くなっております。

(松田町長)

公務があり、出なきゃいけませんので、基山町の大きな特徴として、60代が無茶苦茶多いような状況であります。圧倒的に他の世代に比べて、60代、70代が多くて、普通の都市では、40代が団塊の世代ジュニアで多いんですけど、うちは60代、70代が多いので、それをもってあと15年から20年の間に、一人暮らしの高齢者世帯が多くなるということで、その対策をやっているんですけど、60代、70代が多くて、その世代の方が非常に熱心で、回答率が高く、こういう極端な形になったのではないかと考えております。それから、重要度と満足度の話は、会長がおっしゃられるように、普通は満足度が上がれば、重要度は下がるような形になるんですけど、満足度が上がっても重要度が上がっているような項目ですね、ここでいうと、農林業や交通整備や下の3つはそうなんですけれども、これから重要になってきますので、これからやっていかなければならない。総じてみれば、5年前のアンケートよりも、回収率も結果もいい形になっている。そしてあと5年後どうするかということになります。第6次の総合計画になりますので、第5次を引き継いだ形の分析もやっていきますが、6次でまた新たな形のもの考える形になるかもしれないなと思いつつ、いずれにしても、いろんなご意見を賜りまして、中間での整理や改善なりまた方向性や修正なりをさせていただきたいと考えておりますので、これからもよろしくお願いいたします。ありがとうございました。

(山田委員)

アンケート調査の件なんですけど、今からの基山の進むべき道を示す重要なものであると思うんですよ。言わば議員を決める選挙と同じような位置で捉えてもらったらより身近な問題として捉えられるんじゃないかと思うんですよ。基山町の選挙が60%から70%位だとしたらそこら辺を民意として吸い上げる手法が今後の課題として残るんじゃないでしょうか。例えば、国勢調査、あれは趣旨を徹底するために、郵送ではなく、趣旨を説明してアンケート調査をお願いしますよね。手法は色々あると思いますが、行政の長を選ぶのと同じ位の手法でされた方がより正確なものがでるんじゃないかと思っています。これはあくまで、私からの意見です。

(森田会長)

郵送回答ですか。

(事務局)

そうです、郵送回答です。

(森田会長)

特に20代から40代、50代については、メールやオンラインで回答できるとか、それも入っていますか。

(事務局)

いえ。オンラインは採用しておりませんので、先程から言われたことが、次回への課題ではないかと思っています。

(原委員)

重要な一つの指針にはなっているかとは思いますが、回答された1,205名の方が町の施策をすべて熟知して回答があったかというのは未知数ですし、特に子育てに対し

て子育て世代が回答した中身がどれだけ反映しているのか、そういうのは非常に分かりにくいところもありますので、だからこれだけの方が集まって検証していこうという話になりますので、それでも前回よりも、町に対しての期待感あるいは自分たちが参画していこうという意識は向上しているのではないかと考えているところです。

6 議題

(3) 第5次基山町総合計画（H28～R 2）中間検証報告書について

（森田会長）

それでは、(3) 第5次基山町総合計画（H28～R 2）中間検証報告書について、事務局より説明をお願いいたします。

（事務局より（3）第5次基山町総合計画（H28～R 2）中間検証報告書について説明。）

（森田会長）

量がかなりありますが、今説明を聞かれた範囲で何かあれば。

（白石委員）

26 ページの基山発のホームページへのアクセス件数とありますが、アクセス者の町内、町外の内訳は分かりますでしょうか。IDなしでアクセスできるということでしょうか。

（事務局）

そうです。IDなしです。

（白石委員）

わかりました。それと、8 ページの①住みたいまち基山の創造に、テレビCMの放映とありますが、今もやっているんですか。

（事務局）

今は、放映しておりませんが、FBSで数年前に流しておりました。エミューがでてるものです。それと博多駅のデジタルサイネージで流しておりました。

（白石委員）

ありがとうございました。

（原委員）

CM関係のやつは、ユーチューブとかに入っていますか。私も残念ながらテレビ画面に遭遇したことがなかったもので。もしあれば一度見てみたかったもので。

（事務局）

その時の版權をどちらがもっていたかで、流せる流せないがあるもので。今回別の案件で出したものは、最終的な許可をうちがもらうので、別件で流す分については、ユーチューブでも活用できるようにしましたので、その件につきましては、確認して次回報告させていただきたいと思います。

（末吉委員）

中間検証報告書の評価シートについてですが、右の欄に担当課がありますが、担当課が自己評価して記載しているとう理解でよろしいでしょうか。

(事務局)

おっしゃられるような形です。担当課の評価に偏りがいないか、プロジェクトチーム会議や幹事会を経て作成しております。

(末吉委員)

そういう意味では相互チェックを入れているわけだ。わかりました。

(森田会長)

三角が2つありますかね。今回初めて資料をもらいましたので、持ち帰ってお目通しをお願いします。

(田口委員)

私商工会の代表なんで、商業、工業に目がいってしまいましたが、他のところも多分に類似した問題があると思うんですが、商業に関しては2ページに、満足度が一番低い13.8%が12.9%上がって26.7%になりましたということですが、重要度はあまり変わり映えしてない状況であり気にはなりません、満足度については、かなり開きが大きい。商業は13から26になった理由は空き店舗の数が減りましたというところで、K P Iがある程度数値がよくなりましたから、成果がそこそこ出始めていると、しかしながら実際には黒丸というところですが、私が気になったのは、アンケート調査の6ページ目の、あなたはこれからも基山町に住み続けたいと思いますか、あるいは、5ページ目の、どちらかといえば住みにくいと考える点に商業施設が少ない、店が少ないと。そういったところで、町外に移りたいとある。ではどういう商業施設が必要だと思っているのかということのも、皆目見当がつかない。闇雲にスーパーとかショッピングモールを増やせばいいだけではなくて、生活に密着した店舗が本当に足りないのかということになる。基山町内にあるとすれば、情報発信が足りないということになりますので、私も改善しなければならないと思う。7ページを見てみますと、8割位の人が不満に思っているのが、商業になる。また、一番不満に思っている率が高いのが商業になる。分析をしっかりとしたうえで、何が問題なのかというのを解明していかないといけない。計画策定時のK P Iの空き店舗数を改善できれば、達成できたということにはなるんでしょうが、アンケート調査をとってみると、空き店舗が減ったから満足しているということではない。それをしっかりと取り違えしないようにしていかないといけない。これから第6次に向かって何をやるべきかしっかりと道筋をたてていかないといけない。これから基山町は高齢化が進み、一番困るのが買い物になってくる。そこをどう改善するかが商工会としても目標である。コロナの影響で、多くの店舗が疲弊している。飲食店も小売店も。特にひどいのが後継がいないところです。5年後にやめようかと思っていた人も、もうやめてしまおうという人もいる。計画もコロナにあわせて、大きく方向を変えていかないと、基山だけではないが、疲弊しきっている日本経済や生活を考えると、早急に立ち直す方策を加えなければならない。アンケートに関しては、個別に書いてある項目で不満に思っていることを少し掘り下げて、調査する必要があるのではないかと思います。不満と思っている項目をどんどん追及していかないと改善が進まないと思う。

6 議題

(4) 第5次基山町総合計画（H28～R 2）中間検証による見直し案について

（森田会長）

ありがとうございました。それでは（4）第5次基山町総合計画（H28～R 2）中間検証による見直し案について事務局より説明をお願いします。

（事務局より（4）第5次基山町総合計画（H28～R 2）中間検証による見直し案について説明。）

（森田会長）

中間見直し案につきまして、ご意見やご質問はないでしょうか。

（田口委員）

基本的には、この案については、大賛成です。せっかく追加するということであれば、今最大の懸案事項はコロナに対する事項で、避難所もコロナを考えた対応策を十分やっておかないと、避難所として機能しないし、行きたくないという人が増えていつている。そこで、感染症予防対策を講じた避難所運営にしてはどうかと思いますが、いかがでしょうか。

（事務局）

事務局としては、そういったところも含めて、大きな意味合いで様々な状況としております。総合計画そのものは大局的な計画ですので、他の計画をなぜ見直さなかったといえますと、田口委員さんが言われたような商工業が疲弊しているといったところも、総合計画の中では読み取れる部分がありまして、実際その計画を実施する段階では、個別計画の実施計画や他の施策で対応できるであろうというところでの追加ということで、広い範囲を網羅できるようところで追加をさせていただいたということでご理解をいただければと思います。

（田口委員）

様々な状況の中にそうとらえてあれば私はいいんですが。この時点でコロナが数年のうちに収まることはありませんので。

（鳥飼委員）

高齢者支援に関してですが、一人暮らしの高齢者が今後増えていくということですが、なぜ一人暮らし世帯が増えていくのかを調べたほうがいいのかなと。定住促進を基山町は進めておられますが、私は中山間地域に住んでいますが、跡取りはいるが帰ってこない帰ってこれないので、高齢者世帯や高齢者の一人住まいが増えていつています。そういった状況も、高齢者支援や定住促進のヒントになるのかなと思います。

（事務局）

いわゆる二世代目の部分については、定住の施策の中で、今、定住施策として、例えば町外からの転入であったり、近くに家を建てたときの補助であったりとか、鳥飼委員さんが言われたところは対応していくということで、今やっていつている施策の中です。一方で、高齢者については、出て行った方が帰ってこないという前提の中で、これまで夫婦2人で暮らしてあったがどちらかがお亡くなりになられて、一人世帯にな

っていくという状況が増えております。お子さん方への施策も実施しながら、一人暮らしの高齢者が増えていっているという状況から、そこへの対策も強化するという事で、追記させていただいたということでご理解いただければと思います。

(森田会長)

他にないでしょうか。

(田口委員)

2 ページ一人暮らしの高齢者世帯が 850 世帯、高齢者のみの世帯が約 1,900 世帯とありますが、850 世帯については 850 人、1,900 世帯については 1 世帯 2 人以上ということで、倍以上と考えてよいでしょうか。

(事務局)

はい、高齢者の親子世帯もありますので、倍以上で考えていただいて結構です。

(田口委員)

わかりました。これを見ると数年後の状況が予測できます。

(濱崎副会長)

高齢者支援のところですが、適切なサービス提供を実施しということだけなんです、いわゆる介護保険サービス等のサービス提供だけでなく、ご近所の助け合いもぜひ文言として入れておかないと、他の項目の、まちの結束というところでは、ご近所付き合いは減っていっているということで、ご近所の助け合いや見守りも大事な部分になるので、サービス提供だけでは安心できないのではないかなと思うんですが。

(事務局)

確かに、委員さんがおっしゃられるような部分もあると思います。そういった意味で、来年度から高齢者の支援に関しては、新たに機構改革を行って支援室をつくって、支援室の中で、見守りの部分としての強化を行っていきたいと考えております。そういったときにサービスという表現がどうなのかというところがありますので、検討をさせていただけたらと思います。

(濱崎副会長)

はい。

(原委員)

関連してですが、気になっているのが、高齢者支援のところで、追加の部分で実態把握と自立の部分が気になったんですね。5 年前に議論した時も 22 の施策体系の中に貧困というキーワードが必要ではないかと議論したのを思い出しました。高齢者問題についても、私たち労働組合退職者団体の中でも、一人住まいの女性高齢者の貧困が問題視されております。子育ての部分でも一人親の貧困がクローズアップされてきている。私は貧困という言葉が気になる。高齢者支援だけでいいのかと悩みつつ、5 年前に立てなかったことを思っております。

(森委員)

持ち帰って資料確認のために、基本的なことの確認をさせてください。2 ページの安全安心は、冊子の基本計画の 55 ページに追加するというイメージでよいのでしょうか。

(事務局)

はい。

(森委員)

それと、田口さんからもありましたように、今の情勢として、やはりコロナが頭の中にでてくるので、23 ページの今後の社会展望の中で、コロナを意識したものにした方がいいのかなと。そこで全体的に読ませるという方法はできないのかなと思っております。

(事務局)

新型感染症がまさにそのことになりますので、コロナ自体の対策は国の色々な補助金を使いながら対策をしておりますので、今総合計画を策定しているならば、そういった表現がどこかに出てくるのかなとは思いますが、中間見直しの中であえて入れる必要があるのかなというのはあると思います。また、そこについては、委員さんの中でご議論いただければと思います。今回見直しはたった3つかということがあると思います。基本的に、そもそもの総合計画というのは10年を見据えたところにつくっていくと。そういった中で、5年間が経過し中間検証をして、町長の冒頭の挨拶にもありましたように、5年間で大きく変わった部分、策定期間からするとこれは入っていなかったという部分を入れるということで、全体的な見直しについては、次回の第6次になるのかなと。町としては、ポイントを追記したところで、ご提案をさせていただきました。

(森委員)

アンケートを実施し、無作為で抽出して送っておられますが、そのうち何%かを定点的な、例えば策定に参加していただいた方たちに、定点的に評価していただくということは可能でしょうか。

(事務局)

これからですか。

(森委員)

今後です。

(事務局)

今回中間検証をして、色々なアンケートをとった中でも、色々なご意見をいただいております。2,500名の抽出について、無作為抽出ではなく、条件をつけて抽出する方法もあるのではないかとのご意見もありました。今回については、前回と同じ条件で内容についても同じにしないと、検証できないという方向性で行いましたが、次回の第6次に向けて、町長からもありましたが、同じ方法でアンケートを取りつつ、一方では別の意見を求めるというのにも必要ではないかと思っております。

(森委員)

分かりました。

(森田会長)

モニタリング方式ですね。今日は、資料も膨大にありますので、また、次回でご意見をいただくということで。

(事務局)

本日は資料の説明ということで。また、次回ご意見をいただいて、整理させていただきたいと思います。本日いただいたご意見については、また、次回報告回答させていただきたいと思います。

(森田会長)

全体をとおして何かないでしょうか。

(池浦委員)

施策があげられますが、どの位の予算がついていて、どの位の規模でやられているのか分かるものはありますか。予算がこれだけついているのに、評価はあまり上がっていないとか、満足していないというのもありますので。

(事務局)

実施計画を策定しており、予算は記載されおります。決算ではないので、変わっている部分もありますが、郵送いたしますので、それを見ていただいて、ご判断いただければと思います。

(池浦委員)

私の中では、少子高齢化の問題が基山の一番の問題だと考えております。やはり、予算がないとできないことがたくさんありますので、どの施策にどの位の予算がついているのは重要なことだと思いますので。

(事務局)

平成 29 年から平成 31 年位のものをお送りします。

(森田会長)

それでは、長時間にわたりお疲れさまでした。総合計画審議会の議事については、以上となります。

(5) その他

① 次回審議会の開催時期について

(森田会長)

その他としまして、事務局よりお願いします。

(事務局)

本日はどうもありがとうございました。第 2 回審議会につきましては、来月 12 月を予定させていただきたいと考えております。また、日程調整をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

これをもちまして、第 1 回基山町総合計画審議会を終了させていただきます。大変お疲れさまでした。

(閉会)